

前回9月10日の例会記録

出席の状況

会員数 49名 (内出席免除 3名) 出席者数 41名 欠席者数 8名
出席率 85.42% 前々回訂正 93.75%
欠席者 藤原, 福元, 入江, 川本, 小橋, 中西, 新倉, (平野)

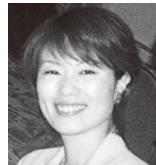
ゲスト

〈国際ロータリー第2690地区 第9グループガバナー補佐〉滝澤輝治 様

S.A.A.



滝澤輝治様：本年度、第9グループのガバナー補佐を務めます。よろしくお願い致します。



滝澤ガバナー補佐、本日はありがとうございます。今夜も、お世話になります。



相原会員

・滝澤ガバナー補佐には、わざわざご訪問いただき、ありがとうございます。今晚のクラブ協議会もよろしくお願い致します。
・横井様、本日はようこそお越しいただきました。



小松原会員

商用の為、早退させていただきます。



横山会員

滝澤さんよくおいで下さいました。今晚のクラブアッセンブリーはお手柔らかにお願いします。



氏房会員

以上、5件 17,000円(累計 380,000円)

会長報告

会長 西山隆三郎

本日、滝澤ガバナー補佐に表敬訪問にお越しただいております。滝澤ガバナー補佐には、本日のクラブ協議会でもお世話になりますので、よろしくお願いいたします。

会員の皆様の一つご報告とご了承をお願いしたい件がございます。森田ガバナー年度の単年度プロジェクトであります、「公共イメージ向上アワード」(キラリ☆一番星アワード)についてです。

このアワードは、第2690地区内のいずれかに活動拠点を置き、5年以上にわたり「まちづくり」か「環境保全」のどちらかのボランティア活動で地域の課題解決に取り組んでいる団体か個人を各クラブで推薦し、最終審査を経て地区大会にて金賞4件(岡山県2件、鳥根県・鳥取県各1件)を森田ガバナーが表彰し、銀賞7件を推薦クラブの例会にてガバナー補佐が表彰するというものです。

我がクラブでは、新地区補助金プロジェクトに集中する方針のため、推薦の予定はございませんでしたが、他のクラブの推薦状況と滝澤ガバナー補佐からのご進言もあり、先週の理事役員会の了承のもと、「出石町をどねんかする会」を推薦することに決定いたしました。

なお、「出石町をどねんかする会」様の活動状況は、本日お配りしております資料のとおりですが、10月29日の例会に卓話にお越しいただき、ご説明をいただく予定です。

幹事報告

幹事 相原利行

・本日、午後6時集合、午後6時半開会のスケジュールで、本日表敬訪問にお越しの滝澤ガバナー補佐をお招きしまして、クラブ協議会を開催いたします。出席者の皆様には時間厳守をお願いいたします。

・先週の新地区補助金プロジェクト 教育講演会において講師をお願いいたしました竹内昌彦先生に関しまして、寄付のお願いが2件ございますので、ご協力をお願いいたします。

・9月24日の月見夜間例会に関しまして、現在、河田親睦活動委員長にご準備いただいております。特に、俳句・川柳の優秀作品には商品をご準備いただいておりますので、ご応募のほどお願いいたします。

・10月28日の地区大会に関しまして、2690地区の会員の皆さんがお集まりということで、自家用車でのご来場はお断りしております。つきましては、岡山北RCと合同でバスをチャーターすることになりましたので、追って希望者を募ります。

・先日の第1回IDMには多数のご参加をいただきましたが、次回は11月19日(月曜日)に、恒例によりまして岡山済生会病院様でボジョレーヌーボの解禁に合わせまして開催いたします。スケジュールの調整をお願いいたします。

新地区補助金奨学生 最終報告

2011-12年度国際ロータリー第2690地区新地区補助金奨学生 横井 和子 様

約9カ月に及ぶオックスフォード大学大学院留学を無事に終了し、修士号を取得して7月14日に帰国致しました。今回の最終報告書では、この一年間を通して得た成果を学業面、ロータリー活動の両面から報告させていただきます。



学業面での成果

大学院では一年間を通して宗教学理論、ヒンドゥー教、ユダヤ教を主に学び、特に修士論文ではインドにおけるマントラ(真言)について研究しました。留学開始前には宗教を社会から独立したものと個人を基盤に考えていたのですが、特に週一回行われるゼミを通して、いかに宗教が社会や政治と絡み合いながら歴史的に変遷してきたのかを考える機会を与えられました。このことは、今後研究を続けていく中で私の力となってくれると思います。また、ロータリー活動の時間以外の殆ど全てを勉強時間にあてたのですが、英語力の向上や、英語での本の読み方のコツ、クラスメートとの議論を通しての視野の広がり等も学業面での成果だと思います。最後に、クラス内で私のみが完全な非英語圏からの留学生で、英語での学問にデメリットを感じることも多々ありました。しかし、9か月を通して膨大な量の資料を読み込み、無事に試験と修士論文を書き終えたことは私自身にとって大きな自信になりました。

参加したロータリー活動・プロジェクト内容

一年間を通して本当に多くのロータリー活動に参加させていただきました。何よりも回数を重ねたのはやはりロータリークラブを訪問してのスピーチです。日本に対する理解は各ロータリアンによってまちまちだったのですが、ニュース等ではよく耳にする東京のことよりも、岡山・鳥取・広島文化遺産や、「いただきます」等の日本の道徳心についてよく紹介しました。現地の方が他からはやはり3.11の震災と津波についての質問が圧倒的に多かったのですが、そのほかにも日本経済や日本の哲学についてなどの一歩踏み込んだ質問等もよく聞かれました。スピーチ以外にも、多くの活動へ誘って頂きました。まず、私をホストして下さったBicester クラブでは、中国の新年祝いやクリスマスパーティーへの出席を通して、交友関係を広めることができました。またオックスフォードの地域は留学生用のイベントを多く用意して下さい、近くの宮殿への散策やカーレースへの観光、ロンドンの観光など、他の留学生と親睦を深める機会となりました。一番のメインイベントは地区会議でした。他の留学生と一緒に壇上で約1時間程ロータリーの奨学金について地区のロータリアンの方々にアピールしました。特に私はアジアかつ非英語圏からオックスフォードへの唯一の留学生だったため、日本でのロータリー奨学金の審査過程やその難易度について話すことが求められました。その他にもいくつかのミーティング等に参加させていただきましたが、ロータリー活動そのものを通して得るものが多かっただけでなく、その場での交流を通してお仕事や個人史など(例えばイギリス人が体験した第二次世界大戦)、他では聞けないようなお話を聞かせて頂いたことも私自身にとって学びとなりました。

直面した課題・問題点

学業面での問題点はやはり英語力でした。自分でもある程度自身を持って渡英したつもりでしたが、人文学ということもあり、洗練された英語を使いこなすことが求められる中で、エッセイ等を書くたびにいつも自分自身の英語力の限界を痛感せざるを得ませんでした。この課題はこの一年間で完全に改善されるものではなく、今後の地道な努力が物を言うと思っています。また、ロータリー活動においての課題は、活動時間が限られていたことです。渡英する以前は、オックスフォード大学に留学している他のロータリー親善奨学生と独自のプロジェクトを行いたいと考えていました。しかし実際には、私も含め睡眠時間を削らなければ間に合わないほどの勉強量を目の前にして、ロータリー活動への参加が精いっぱい、ホームレス支援などの独自のプロジェクトに至ることはありませんでした。また、何度かチャリティーイベントへの参加をお願いされたのですが、いつも学業と日程が被ってしまい、参加することが出来なかったことが心残りです。この件は今後2年間を通して参加しようと考えています。

今後の課題・キャリア目標

この一年間は学問への入門のようなものでしたが、9か月間の集中的な学びを通してさらに宗教学・思想面から平和構築へアプローチをするという目標が明確になりました。そのために、現代の理論を学んだ現在、次のステップとして、古代文献も自力で読み解ける基礎研究能力を徹底的に身につけたいと考えています。そのために、具体的な進路としてはオックスフォード大学の古代インド学(MPhil in classical Indian religion)という2年間の修士課程に在籍し、サンスクリット語・パーリ語の習得に努めます。今度の2年間の留学は国費留学という扱いになり、ロータリー親善大使と同様、責任が大変重いものですが、思想面からの平和構築という使命感を持って勉学に励みたいと考えています。

今後のロータリー活動への参加

今秋から再度オックスフォードの方へ留学するというので、今後2年間は日本でのロータリー活動は限られると思います。一方、オックスフォードのロータリーの方では今後も続けて活動に参加するように仰って頂き、来る10月に行われる2012-2013年度ロータリー奨学生向けのオリエンテーションにもOGとして参加することになっています。このように、今まで出会った縁を大切にしながら、今後も今までと変わることなく、ロータリー活動に頻繁に参加させて頂こうと考えています。

今後の奨学生への助言

恐らくどの国・地域へ留学しても、現地のロータリアンは本当に親身になり、身の回りのことから勉学のことまでアドバイスを下さると思います。特に始めて留学される方にとっては、何もかもが新しく、その中で語学の壁、住居や大学での勉強、友人関係など自分にとって心地の良い環境を作り上げることはしんどいことでもあると思います。そのため、何か困ったことがあればあまり躊躇することなしにカウンセラーさんに助言をお願いしてもいいと思います。ささいなことですが、例えば私は炊飯器が高額なものだと思い込んでおり、購入することを躊躇していたのですが、現地のロータリアンの方にそのことを話すと、とても安価で買える場所を教えてくださいました。そして、こういう時のお礼になるように、日本のお土産を多めに持つていくのもいいと思います。日本のお茶や食べ物もいいと思いますが、やはり好き嫌いが分かれますので、私は京都で日本らしいハンカチをたくさん購入して、何かある度に渡していました。

言語や生活環境以外では、ロータリー活動と勉学の両立性の難しさが挙げられるかもしれません。私をホストして下さい地域はロータリー奨学生の活発な活動が求められるところで、一週間に二度以上活動が重なることもありました。自分自身にとって過度に負担にならないためにも、前

もって準備しておくこと等、タイムマネジメントをしっかりとすることが求められると思います。

最後に、ロータリアンの方々は様々な職種についておられ、世代も様々なので、個人的に仲良くなると自宅に招待してくれたり、個人史を教えてくれたりする場合もあります。私達にとっての異文化の中での人々の生活にこれほど密接に触れる機会はそうそうあるものではないと思います。ぜひ色々な方の話に耳を傾け、人々や社会に対する認識を深めて下さい。

最後になりましたが、ロータリー奨学生としてオックスフォード大学大学院へ留学させて頂き、本当にありがとうございます。小林完治先生、カウンセラーの西山さん、ホストして下さったビスタークラブ、現地カウンセラーのJolantaさんを始め、多くの方のご支援があってこそ無事に留学生活を終えることができました。奨学生として一年間イギリスで生活したおかげで、単なる学生生活に終わるのではなく、志を同じくする方々と出会う機会を与えて頂き、今後も続くであろうネットワークも築くことができましたと思います。今後の2年間は更に専門性をつけるための国費留学となりますが、ロータリー活動にも続けて参加し、新しくオックスフォードへ留学してくる方々の力になれたらと考えています。私のキャリア目標は、研究者として思想面から平和構築へ貢献するというもので、一人立ちするまでにまだまだ時間はかかりますが、今後も温かく見守っていただければ幸いです。



クラブ情報

岡山北西ロータリークラブ ガバナー補佐訪問クラブ協議会

日時：平成24年9月10日(月)18:30~20:30 集合時間 18:00
場所：ホテルグランヴィア岡山 3F「パール」



〈国際ロータリー第2690地区
第9グループガバナー補佐
滝澤 輝治 様



〈国際ロータリー第2690地区
第9グループガバナー補佐
随員幹事 木村容治 様



2012年9月10日(月)
岡山北西RC クラブ協議会

第9グループ・ガバナー補佐
滝澤輝治(岡山RC)

「ロータリーの理念と目的」

「ロータリーの理念と目的」を理解する意義

- ロータリーの「五大奉仕」は、「ロータリーの理念と目的」に基づいた活動である。
- 私たちは、ロータリアンとして、ロータリーの活動に時間、金銭、労力を費やしている。
 - ロータリー活動の本質的な意味を理解する。
 - 「ロータリーの理念と目的」を理解する。

「ロータリーの理念」とは

ロータリーでよく使われる用語

- 「奉仕の理想」という用語
- 日本語版定款第4条(社定款、クラブ定款)・資料1

意味が解りにくい

- 英文定款では "Ideal of Service" ・資料2

◆ "Ideal of Service" = <Serviceの理念> = <ロータリーの理念>

★ "Service" の意味

- 通常は「奉仕」と訳す
- 国際ロータリーの説明
 - ★ 私の理解 「(人のことを思いやり)人のために役立つ」

◆ "Ideal of Service" = <人のために役に立つという理念>

「ロータリーの目的」とは

ロータリーでよく使われる用語

- 「目標」という用語
- 日本語版定款第4条(社定款、クラブ定款)・資料1

◆ 英文定款では "Object" ・資料2

◆ "Object" は、「目標」ではなく「目的」と訳すべき。

◆ 「ロータリーの目的」 ◆ 定款第4条に明記。私の解釈と翻訳

◆ 英文を解釈

「ロータリーの目的」は、価値ある事業活動の基本として、「Ideal of Service(人のために役に立つという理念)」を奨励し、促進することである。

◆ 私の解釈

「ロータリーの目的」は、「ロータリーの理念」である "Ideal of Service(人のために役に立つという理念)" を、私たちロータリアンが自らの活動に適用・実践し、ロータリアン以外の人たちに奨励・促進することである。

◆ 私の独断的な解釈と翻訳 ◆ 資料

◆ 「ロータリーの目的」を達成するために、ロータリーは、私たちロータリアンに、

★ <"Ideal of Service" = 人のために役に立つという理念> を、クラブ、支店、地区、国、国際連合で、国際社会で、国際社会で、そして新世代に、奨励し、実践することを求めている。と考える。それが、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕の「五大奉仕」ということになる。

◆ <ロータリーの理念> である <人のために役に立つという理念> を適用・実践し、奨励・促進するという「ロータリーの目的」を達成するために、「五大奉仕活動」を実施する仲間を増やす。 ◆ 役員選任の本質的な意義

「ロータリーについての私見」

- 「ロータリーの原点」
 - 「ロータリーの原点」は、ロータリーの「理念」と「目的」(≒「五つの道」で実践)
 - ロータリークラブは、多種多様な職業人の集まり
- 「魅力あるロータリークラブ」
 - 「自分のために」ではなく、「人のために役に立つという理念」を共有し、実践する人たちの集まり
 - 人間として、職業人として、会員が仲間と共に切磋琢磨できるクラブ

◆ 意思決定を容易く、活発な「五大奉仕」活動を実施する。多くの人と知り合い・関係を深め、切磋琢磨し、人的ネットワークが構築できる。無理のない活動ができる。

◆ 一定レベルの会員数

以上

例会情報

本日のメニュー (9月24日) 月見夜間例会

次回のメニュー (10月1日)

八寸 白角皿 (瓢亭玉子、鯛袖庵焼き、蒸し鶏、ミニトマト、酢取茗荷、扇胡瓜、諸味噌)

長手箱 千代口 唐草黄小鉢 (戻り鰯一献盛り 芽物一式)

揚物 籠盛り (蓮根博多明太揚げ、海老アーモンド揚げ、獅子唐、檸檬、抹茶塩)

焚合せ 名残鰹黄身煮 瓜蕪含ませ (银杏麩和蘭煮、紅葉人参紅梅煮、絹さや、木の芽)

小鉢 (流し玉子、オクラとろろ、振り柚子、琥珀ジュレ) 御飯(白御飯) 赤出汁(かきのき茸、若芽、葱、粉山椒) 香物(三種)